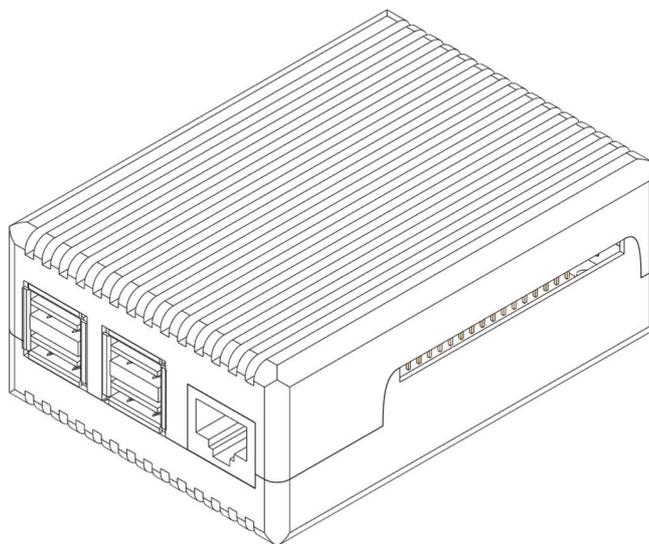


SSSignage Player

エスエスサイネージ プレーヤー

取り扱い説明書



目次

はじめに.....	2
安全のために必ずお読みください.....	3
1. 本機の構成.....	6
1.1. 添付品の確認.....	6
1.1. 付属ソフトウェアとドキュメント.....	6
1.2. 各部の名称と働き.....	7
2. 使用方法.....	8
2.1. 初期状態での起動.....	8
2.2. フォトフレーム再生モードでコンテンツを再生する.....	9
2.3. テンキー入力再生モードでコンテンツを再生する.....	11
2.4. TCP コマンド再生モードでコンテンツを再生する.....	12
3. トラブルシューティング.....	13
4. その他の情報.....	14
4.1. ソフトウェアライセンスについて.....	14
4.2. 仕様.....	15
4.3. 製品に対するお問合せ.....	15

はじめに

日本システムストラクトのデジタルサイネージプレーヤー「SSSignage Player」（以下、本機）をご利用いただき誠にありがとうございます。

本機は、簡単・シンプルにデジタルサイネージ（動画・画像をスケジュールに合わせて表示する）を実現する機器です。

HDMI 入力に対応したディスプレイに本機を接続し、USB メモリに動画や画像ファイルを配置します。スケジュール作成ソフト「SSSignage Manager」を使用するとスケジュールに合わせたコンテンツの再生も可能となります。

本機を安全に正しく使用していただくため、このマニュアルをよくお読みください。
また、必要な時にいつでも参照できるよう大切に保管してください。

安全のために必ずお読みください

本マニュアルでは、本機を安全にお使いいただくために以下のような項目を表示しています。表示の内容をよく理解してから、本文をお読みください。

 警告	この表示の内容を守らない場合、人が死亡や重傷を負うなど人身事故の原因となります。
 注意	この表示の内容を守らない場合、人がけがをする、また周囲の物品に損害を与えたりする原因となります。

障害・事故の発生を防止するための表示を以下のようなマークで表しています。

	使用者に対して指示に基づく行為を強制するものです。
	使用者に対してその行為を禁止するものです。
	電源コードのプラグを抜くように指示するものです。
	ぬれた手でさわる事を禁止するものです。
	水がかかる場所で使用する、または水にぬらす事を禁止するものです。
	分解・改造することを禁止するものです。

警告



指定の電源電圧で使用する

本機は日本国内では、100V（50/60Hz）でお使いください。
指定と異なる電源電圧で使用すると、火災や感電の原因となります。



付属の電源コードやACアダプター以外は使用しない

本機に付属している電源コードおよびACアダプターは本機専用です。
必ず付属の電源コードおよびACアダプターを使用してください。
また安全のため他の機器には使用しないでください。



傷ついた電源コードやACアダプターを使用しない

傷ついた電源コードおよびACアダプターを使用すると、火災や感電の原因となることがあります。

- ・電源コードおよびACアダプターを傷つけない、加工しない
- ・電源コードおよびACアダプターに重いものを乗せない
- ・コードを無理に曲げたり、ねじったり、引っばったりしない。



水がかかる場所や濡れる恐れのある場所で使用しない

水にぬれるおそれのある場所では使用しないでください。水が入ると火災や感電の原因となることがあります。



万が一、本機に水などが入った場合は電源プラグをコンセントから抜いて販売店にご相談ください。



故障時は電源プラグを抜く

本機から煙や異臭、異常な音、手でさわれないほど熱い場合は、すぐに電源プラグをコンセントから抜いて販売店に修理を依頼してください。



本機の分解・改造の禁止

本機を分解・改造しないでください。火災や感電の原因となることがあります。

注意



付属の電源コードやA Cアダプターの取り扱い

- ・本機の電源コードおよびA Cアダプターを接続する際には、プラグ・コネクタをしっかりと奥まで差し込んでご使用ください。
- ・本機をお手入れする際には、安全のため電源プラグをコンセントから抜いてください。
- ・長時間、本機を使用しない場合は、安全のため電源プラグをコンセントから抜いておいてください。
- ・本機との接続はマイクロ USB 端子となっておりますが、接続の際には斜めに挿入するなど余計な力がかからないようまっすぐと確実に接続してください。



本機の設置場所について

安全にご使用いただくため次のような場所の設置は行わないでください。

- ・不安定な台の上、傾いた場所など
- ・屋外や湿気・ほこりの多い場所
- ・調理器の近くや高温になる場所



濡れた手で電源コードやA Cアダプターをさわらない

濡れた手で電源コードおよびA Cアダプターの抜き差しをすると感電の原因となることがあります。



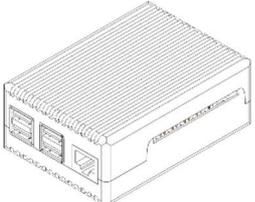
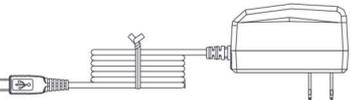
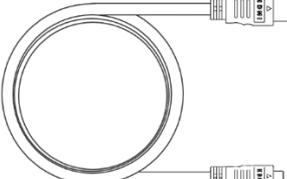
移動の際は源コードおよびA Cアダプターを抜く

コード類を接続したまま本機を移動させると、コードに傷がついて火災や感電の原因となることがあります。またケーブルを足に引っかけると本機の落下や転倒によるけがの原因となることがあります。

1.本機の構成

1.1.添付品の確認

添付品の内容をご確認ください。

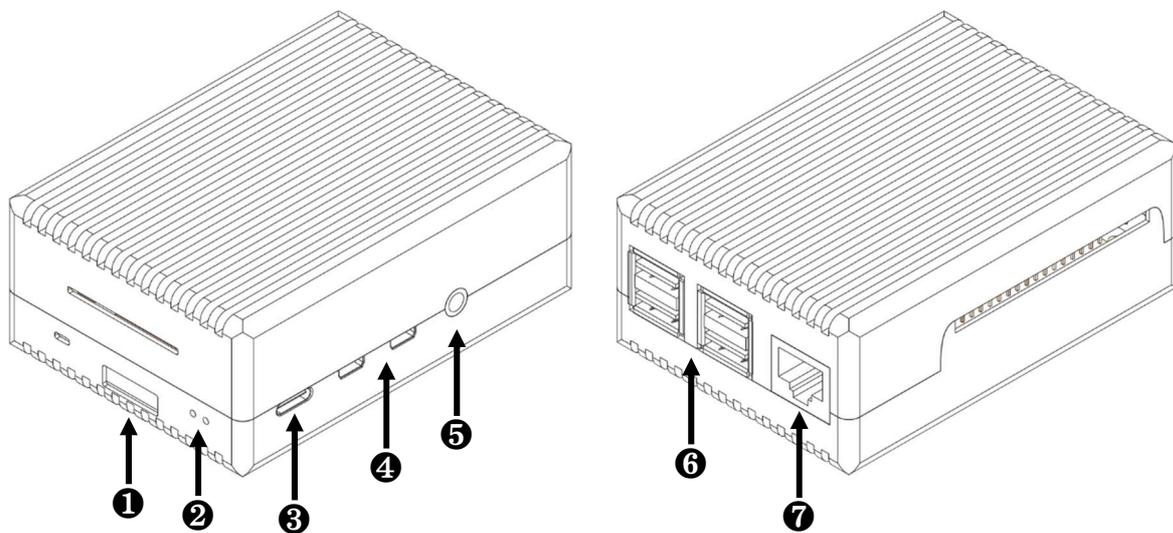
NO	項目	数量	説明
1	SSSignage Player 本体 (本機) 	1 個	本体にはメイン OS がインストールされたマイクロ SD カードがあらかじめ装着されています。 またコンテンツ格納用の USB メモリが付属しています。
2	AC アダプター電源 	1 個	INPUT : AC100V OUTPUT : DC5.1V3. 8A ケーブル長 1m
3	HDMI ケーブル 	1 個	タイプ A オス-タイプ D オス 2m ※タイプ D (micro HDMI)

1.1.付属ソフトウェアとドキュメント

本製品は付属の USB メモリに以下のソフトウェア、ドキュメントを格納しています。

NO	項目	説明
1	SSSignage Manager	スケジュール作成・配信ソフトウェア 詳細については同梱の 「SSSignage Manager ユーザーズマニュアル」 を参照ください。
2	SSSignage Player マニュアル	本マニュアルです。
3	SSSignage Manager ユーザーズマニュアル	スケジュール作成・配信ソフトウェア 「SSSignage Manager」のマニュアルです。

1.2. 各部の名称と働き



① SD カードスロット (マイクロ SD)

本機が動作するための OS とプログラムが書き込まれたマイクロ SD が挿入されています。抜かないようにしてください。

② ステータス LED

電源が投入されると赤 LED が点灯します。
システム起動中に緑 LED が点灯します。

③ 電源コネクタ (Type-C USB)

付属の AC アダプターを接続します。

④ 映像出力端子 (micro HDMI)

付属の HDMI ケーブルと HDMI 入力に対応したディスプレイを接続します。
端子は 2 個ありますがどちらか一方に接続します。(どちらでも構いません)

⑤ 音声出力端子 (ステレオミニ)

ステレオミニプラグケーブルでオーディオ機器に接続します。

⑥ USB ポート (タイプ A) 4 個

付属の USB メモリまたは市販の USB メモリを差し込みます。
どのポートも使用できますがコンテンツ用として認識できるのは 1 個までです。

⑦ LAN ポート (RJ45)

市販の LAN ケーブルを接続します。

2.使用方法

本機は、再生コンテンツの記憶媒体として USB メモリを使用します。

ここでは、付属ソフト「SSSignage Manager」(*1)を使用せずにコンテンツ再生する方法について説明します。

2.1.初期状態での起動

本機は購入直後の初期状態では、サンプル動画（本製品のイメージ動画）が流れるよう設定されています。まずは、ディスプレイと接続して電源投入するとサンプル動画が流れることを確認してみます。

1 付属の USB メモリを本機の USB ポートに差し込む

本機の USB ポートは 4 個ありますが、どこに差ししても構いません。

2 HDMI ケーブルで本機とディスプレイを接続します。

3 付属の AC アダプター電源をコンセントと本機のマイクロ USB に接続します。

4 起動処理終了後、サンプル動画が再生されます。

起動処理は 1 分程度かかります。

以上で、終了です。

次項では、USB メモリにオリジナルのコンテンツを配置し、フォトフレーム機能で再生する方法について説明します。

(*1) 付属の USB メモリにはあらかじめスケジュール作成・配信ソフト「SSSignage Manager」が同梱されていますのでまずは、付属の USB メモリから「SSSignage Manager」をお使いのパソコンにコピーしておいてください。

「SSSignage Manager」を使用したスケジュール作成・配信方法は「SSSignage Manager ユーザーズマニュアル」に詳細が記されていますので、そちらをご参考下さい。

※万が一削除してしまっても「SSSignage Manager」は WEB サイトからダウンロードも可能です。

2.2. フォトフレーム再生モードでコンテンツを再生する

本機は、コンテンツファイルを USB メモリに配置するだけで自動的にコンテンツファイルを再生するフォトフレーム再生モードが備わっています。

1 USB メモリに再生したい動画ファイル・画像ファイルをパソコンからコピーなどして配置する。

USB メモリのルート（直下）に配置してください。USB メモリ内にフォルダを作成して配置するとコンテンツファイルが読み込めません。

また、初期設定として配置されているサンプル動画ファイル「SSSignage.mp4」は必要なければ削除してください。

2 USB メモリを本機の USB ポートに差し込む

本機の USB ポートは 4 個ありますが、どこに差ししても構いません。

3 電源を投入する

本機が起動すると、USB メモリ内のコンテンツファイルが自動的に再生されます。

複数のファイルを配置していた場合は、順番に再生されます。(*1)

(*1) 再生される順番はファイル名の ASCII コード順となります。再生する順番を決めたい場合はファイル名を「01xxx」「02xxx」など先頭に数字を付けておくと順番を決めやすくなります。

※フォトフレーム再生機能で画像ファイルの表示時間を変更する

フォトフレーム機能で表示される画像は初期では 10 秒となっています。(*1)
この時間を変更したい場合は表示時間設定用のファイルを作成します。

- 1 お使いのパソコンのメモ帳などテキストエディターを開き時間を記述します。**
表示時間の単位は秒です。たとえば 20 秒表示したい場合は 20 とだけ入力します。
※上記以外のテキストは入力しないようご注意ください。
- 2 ファイル名を「span.txt」としてコンテンツ用 USB メモリに保存します。**
USB メモリのルート（直下）に配置してください。
- 3 電源を投入する**
本機が起動すると、USB メモリ内のコンテンツファイルが自動的に再生されます。
画像ファイルは設定された時間だけ再生され次のコンテンツに移ります(*2)

(*1) 動画ファイルはそのファイル自身の再生時間で表示されます。

(*2) 画像ファイルごとに別々の表示時間は設定できません。その場合は、スケジュール作成・配信ソフト「SSSignage Manager」をご使用ください。

2.3. テンキー入力再生モードでコンテンツを再生する

本機は、コンテンツファイルを USB メモリに配置し、USB テンキー（キーボード）を接続すれば、キー入力でコンテンツファイルを再生するテンキー入力再生モードが備わっています。

- 1 お使いのパソコンのメモ帳などテキストエディターを開き下記の文字列を入力します。

keyboard = 1

※上記以外のテキストは入力しないようご注意ください。

- 2 ファイル名を「**mode.txt**」としてコンテンツ用 USB メモリに保存します。USB メモリのルート（直下）に配置してください。

- 3 電源を投入する

本機が起動すると、USB メモリ内の Default フォルダ内の「default.jpg」ファイルが表示されます。(初期は真っ黒な壁紙画像です) (*1)

- 4 テンキーの 1～9 および 0 の入力に対応するコンテンツが再生されます。

0 : 「default.jpg」ファイルを表示します

1～9 : ファイル順(*2)で 1～9 番目のコンテンツが再生されます。(*3)

(*1) 「default.jpg」ファイルはお好みの画像に上書きすることも可能です。フォルダ・ファイルが無い場合は作成してください。

(*2) ファイル名の ASCII コード順となります。明示的に割り当てたい場合はファイル名を「01xxx」～「09xxx」など先頭に数字を付けてください。

(*3) テンキーではなく、キーボードを接続した場合、0～9 以外のキーを押さないようにしてください。システムで別の動作が反応してしまい誤動作の原因となります。

2.4.TCP コマンド再生モードでコンテンツを再生する

本機は、コンテンツファイルを USB メモリに配置すれば、外部コンピュータから TCP/IP コマンド送信でコンテンツファイルを再生する TCP コマンド再生モードが備わっています。

- 1 お使いのパソコンのメモ帳などテキストエディターを開き下記の文字列を入力します。

```
tcp = 1
```

※上記以外のテキストは入力しないようご注意ください。

- 2 ファイル名を「**mode.txt**」としてコンテンツ用 USB メモリに保存します。
USB メモリのルート（直下）に配置してください。

- 3 電源を投入する

本機が起動すると、USB メモリ内の Default フォルダ内の「default.jpg」ファイルが表示されます。(初期は真っ黒な壁紙画像です) (*1)

- 4 外部のコンピュータから TCP/IP で本機に接続しファイル名の文字列を送信すると対応するコンテンツファイルが再生されます。

接続 TCP ポート No は「1996」で、接続 IP アドレスは Wi-Fi ダイレクトの場合は 192.168.12.1 ですが、それ以外は「SSSignage Manager」で設定した内容で接続してください。接続完了後、ファイル名（例：test.mp4）(*1)(*2)の文字列を送信してください。それ以外のデータコードは送らないでください。

以下のコマンドはファイル名以外のコマンドです。

default この文字列を送信すると USB メモリ内の Default フォルダ内の「default.jpg」ファイルが表示されます。(初期は真っ黒な壁紙画像です) (*2)(*3)

blank この文字列を送信すると USB メモリ内の Blank フォルダ内の「blank.jpg」ファイルが表示されます。(初期は真っ黒な壁紙画像です) (*2)(*3)

(*1) ファイル名は半角英数の ASCII 文字列で設定してください。全角文字は認識できません。

(*2) 送信したい文字列を ASCII コードに変換し、末尾に 0x0D を付与してください。

(*3) 「default.jpg」ファイル「blank.jpg」ファイルはお好みの画像に上書きすることも可能です。フォルダ・ファイルが無い場合は作成してください。

3. トラブルシューティング

本機が正常に動作しない場合に、以下に挙げる項目で接続、設定および操作に間違いがないかご確認ください。確認した上で異常が復旧しない場合は恐れ入りますが販売店にご相談ください。

トラブル内容	詳細	確認・対応・対策事項
電源が入らない	本機の電源 LED が赤点灯しない	電源コード接続を確認してください。 コンセント側・本機マイクロ USB 側ともにしっかりと差し込まれているかを確認します。
		電源コンセントに 100V 電源が正常に供給されているかを別の機器等で確認してください。
映像・音が出ない	映像が表示されない	HDMI ケーブルが本機とディスプレイに正しく接続されているかを確認してください。
		ディスプレイの映像入力選択がある場合、本機と接続されている HDMI 端子の入力が選択設定されているかを確認してください。
	コンテンツファイルの形式が合っているか確認してください。 「4.2 仕様」参照。	
	音声が出ない	ディスプレイの音量設定を確認してください。 小さな音量設定、またはミュート設定されている可能性があります。
配信できない	「SSSignage Manager」からスケジュールの配信ができない	ネットワーク接続が正しく行われているか確認してください。 有線 LAN 接続の場合、LAN ケーブルで本機とネットワーク機器が正しく接続されているかを確認してください。
		Wi-Fi 接続の場合、Wi-Fi 接続設定が正しく行われているかを確認してください。 ※Wi-Fi 接続はネットワーク環境により接続が不安定となることがあります。その場合有線 LAN による配信か USB メモリへの直接書込みで対応してください。

4. その他の情報

4.1. ソフトウェアライセンスについて

本製品では、Raspberry Pi OS を使用しており、一部に GNU General Public License (GPL) にもとづきライセンスされるソフトウェアが含まれています。

<https://www.gnu.org/licenses/licenses.html>

本製品をご購入されたお客様には、当該ソフトウェアのソースコードを入手し、GPL に従い複製、改変、再配布の権利があることをお知らせします。

Raspberry Pi OS の github は下記 URL となります。

<https://github.com/raspberrypi/linux>

上記ソースコードの入手に関しましては、下記連絡先までお問合せまでご連絡ください。

info@systemstruct.co.jp

本製品は、以下のライセンス適用ソフトウェアを使用しています。

- ・ MIT License

<https://github.com/robinrodricks/FluentFTP/blob/master/LICENSE.TXT>

- ・ Apache-2.0 License

<https://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

- ・ BSD-2-Clause License

<https://opensource.org/licenses/BSD-2-Clause>

- ・ BSD-3-Clause License

<https://opensource.org/licenses/BSD-3-Clause>

- ・ ISC License

<https://opensource.org/licenses/ISC>

これらのライセンス適用ソフトウェア一覧に関しましては、付属 USB の「License」フォルダに CSV ファイルにて参照することができます。

4.2.仕様

NO	項目	説明
1	出力解像度	1920 × 1080
2	対応動画ファイル	MP4 (H.264 エンコード、音声 AAC Audio)
3	対応画像ファイル	JPEG、PNG、BMP、PDF
4	スケジュール配信	USB メモリにスケジュールを直接書き込んだでの配信 有線 LAN 接続によるネットワーク配信 Wi-Fi 接続によるネットワーク配信
5	ベース CPU	シングルボードコンピュータ Raspberry Pi 4B
6	推奨動作温度	0°C~50°C (結露なきこと)
7	電源	5V AC アダプター電源 Type-C USB コネクタ
8	映像出力端子	HDMI
9	本体サイズ	90(W) × 33(H) × 65(D)
10	再生方法	スケジュール再生 フォトフレーム再生 テンキー入力再生 TCP コマンド再生 GPIO 接点入力再生(*1)

(*1) オプション対応となります。詳細は販売店へお問合せください。

4.3.製品に対するお問合せ

株式会社 日本システムストラクト

問い合わせメール : info@systemstruct.co.jp

ホームページ : <https://systemstruct.co.jp/>

営業時間 : 月~金曜日 10:00~18:30